

2023 年度第 3 回価格審査会の開催について

2023 年度第 3 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2023 年 6 月 14 日(水) 10:00~12:00
場 所	6 階大会議室
委 員	田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 シニアエンジニア 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 栞原 圭一 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリnz・テクリスセンター長 早川 和利 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

2023 年度第 2 回価格審査会議事録(案) 確認

2023 年度第 3 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号 ・価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】 H形鋼（福岡市ほか 6 都市）、等辺山形鋼（福岡市ほか 6 都市）、セメント（バラ）（富山市ほか 8 都市）、レディーミクストコンクリート（札幌市ほか 97 都市）、道路用砕石類（苫小牧市ほか 26 都市）、再生砕石類（八戸市ほか 13 都市）、アスファルト混合物（岡崎市ほか 1 都市）、コンクリート積みブロック（滑面）（千葉市ほか 2 都市）、板ガラス（全国）、燃料油（札幌市ほか 24 都市）ほか</p> <p>【土木コスト情報】 <市場単価> インターロッキングブロック工（福岡県ほか 6 都市）、防護柵設置工（ガードレール）（全国）、防護柵設置工（ガードパイプ）（全国）、法面工（全国）、吹付砕工（全国）、鉄筋挿入工（ロックボルト工）（北海道ほか 46 都市）ほか <土木工事標準単価> 橋梁塗装工（北海道ほか 21 都市）、構造物とりこわし工（北海道ほか 21 都市）、コンクリートブロック積工（北海道ほか 21 都市）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）（北海道ほか 21 都市）、表面含浸工（北海道ほか 21 都市）、剥落防止工（アラミドメッシュ）（北海道ほか 21 都市）ほか</p> <p>【建築コスト情報】 <市場単価> 鉄筋工事（水戸市ほか 8 都市）、コンクリート工事（打設手間）（名古屋市）、コ</p>

ンクリート工事（ポンプ圧送）（東京都23区ほか2都市）、型枠工事（札幌市ほか23都市）、シーリング工事（札幌市ほか9都市）、保温工事（ダクト）（札幌市ほか8都市）、衛生器具取付費（札幌市ほか8都市）ほか
 <標準施工単価>土工事（山留め支保工）（大阪市ほか2都市）、土工事（乗入構台）（全国）、鉄骨工事（全国）、防水工事（全国）、ガラス工事（札幌市ほか9都市）、防水改修工事（東京都23区ほか2都市）、配管工事（機械設備）（全国）、保温工事（全国）、ポンプ工事（全国）ほか

- ・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

異形棒鋼（大津市ほか23都市）、鋼板（青森市ほか34都市）、一般建築用木材（全国）、コンクリート型枠用合板（全国）、600Vビニル絶縁電線（IV）（北海道地区ほか9都市）、鉄スクラップ（全国）、非鉄スクラップ・銅（全国）ほか

【建築コスト情報】

<標準施工単価>土工事（親ぐい横矢板工法）（仙台市ほか1都市）、土工事（山留め支保工）（仙台市ほか1都市）

2. 比較資料

- ・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問1	電線のコメント欄に「主原料（銅）の下落を受け、下落」とあり、続く端末処理材料（電源ケーブル用）、接続材料（電源ケーブル用）、配線材料部品には「メーカー値上げが浸透し、上伸」となっている。こちらも銅が主原料であれば、反対の動きであるが、これらのメーカー値上げの理由は何か。	端末処理材料や接続材料の主原料は銅ではなく被覆樹脂である。メーカー値上げの理由も被覆樹脂の値上がり为主要因である。
質問2	鉄筋工の東京価格における土木と建築の比較で、ここ半年ぐらい建築は徐々に値上がりしているが、土木は横ばいが続いている。土木と建築の違いは何か。	鉄筋工の土木と建築は工事内容が異なるため専門工事業者も別業者であることが多い。工事量について土木は安定的に推移しているが、建築は特に東京において都市再開発などで増加傾向にある。そのため土木は横ばいであるのに対し、建築では上伸傾向が続いている。
質問3	H形鋼などの形鋼類で九州だけ値上がりしている理由は何か。	今月は九州だけであるが、先月は関西・中国・四国で値上がりしている。メーカー値上げに対する需給を踏まえた各地域における価格交渉の進捗度合いの違いである。

質問 4	<p>コンクリート用骨材と再生砕石で青森地区の値上がりが特に目立っているが、理由は何か。</p>	<p>コンクリート用骨材と再生砕石は輸送費の値上がりの影響が大きく、4月号が56都市、5月号が19都市、6月号が35都市、今月7月号で44都市と全国各地で値上げが進んでいる。その中で今月は青森地区において価格交渉に進展があり上伸となった。</p>
質問 5	<p>アスファルト混合物が全国で岡崎市と豊田市だけ値上がりしている理由は何か。</p>	<p>全国各地のアスファルト混合物メーカーは、昨年度から電力料金や人件費等の製造コスト上昇を理由に値上げを打ち出しているが、主原材料のストレートアスファルト価格が最近値下がりした影響で、値上げ交渉は難しくなっている。愛知県中部の各都市では昨年2回の値上げが浸透しているが、当該2都市は1回と近隣地区より値上げが遅れていた。ここに来て2回目の値上げが浸透したという状況である。</p>
質問 6	<p>「建設物価」の提供価格について値動きの激しい資材等は特に、1カ月などのある一定期間の平均的な価格を提供したほうがユーザーのためになるのではないか。</p>	<p>「建設物価」は市場価格とのタイムラグが出来るだけ発生しないように、最新の取引価格を提供する趣旨で発刊している。</p>
質問 7	<p>「建築コスト情報」鉄筋工事の仙台価格は東京よりも高い。今一番ひっ迫しているのは東京であると思うが、仙台のほうが高い理由は何か。</p>	<p>仙台は復興関係需要が多い時期に価格が上昇し、需要が落ち着いた現在も価格が維持されている傾向が見られる。</p>
質問 8	<p>「建築コスト情報」に「改修工事」や「解体工事」など工事費の掲載があるが、材料費と比較して工事費の値上がりが少ないように見えるがどのような状況か。</p>	<p>今月は目立った動きはないが一部の工事費では値上がりしている。前回の春号で値上がりしている工事費もある。今後さらに注視していく。</p>
質問 9	<p>今月号の変動帯数は148帯で先月号の倍以上であるとのことだが、過去、同水準の変動帯数があったのはいつ頃か。</p>	<p>2023年1月号が162帯で同水準である。</p>

質問 10	レディーミクストコンクリートにおける全国の市況コメントを見ると、関東や北陸の一部以外は需要が振るわないという状況が多く見られるが、それでも値上がりしている。需要家にはメーカーを救済するために値上げに応じるという姿勢があるのか。	値上げに対する需要家の対応は厳しい姿勢であることが多い。出荷量が落ち込むなかで製造コストが増加しているメーカーの危機感の高まりが、値上げ交渉を成立させているというような状況である。
質問 11	「労務需給ひっ迫に伴う専門業者の値上げが浸透し、上伸」とのコメントは、労務者が不足しているため、専門工事業者が労務者を集めるために労務費を引き上げて確保し、総合建設業者にその値上げを認めさせているという状況なのか。	総合建設業者においても工期遵守のために労務者確保が最優先の状況となっており、一部の工種や地域では専門工事業者の値上げを受け入れている。
審議結果	「建設物価」7月号、「Web 建設物価」7月号、「土木コスト情報」夏号、「建築コスト情報」夏号の価格動向に問題はなかった。	

以上